



日耳鼻医学会 F A X ニュース NO 153

平成21年6月25日 発行 (特)日本耳鼻咽喉科医学会 E-mail jimuj@jenti.or.jp HP http://www.jenti.or.jp
〒104-0031 東京都中央区京橋2-11-8 全医協連会館5F FAX 03-5524-5228 TEL 03-5524-5230

平成21年度定時代議員会・総会開催される

6月21日(日)、午後1時より八重洲富士屋ホテルで各耳鼻科医学会より代議員が集まって代議員会及び総会が開かれて各議案が承認可決された。

先ず、平成21年5月31日現在の会員数はA会員2049名、B会員364名、計2413名で前年より26名の減であることを含めて庶務報告、事業報告がなされた。その後議事に入り、
* 第1号議案 平成20年度収入・支出決算について承認を求める件、
* 第2号議案 平成21年度事業計画(案)について承認を求める件、
* 第3号議案 平成21年度収入・支出予算(案)について承認を求める件について討議が行われいずれも承認可決された。

続いて第34回臨床家フォーラム担当医会挨拶として、東京都耳鼻科医学会フォーラム実行委員長木村仁先生より、9月5日・6日に開催されるフォーラムの詳細な案内があった。また、来年の第35回フォーラムについて、清水理事長、石山副理事長等より概要が説明され、従来と全く違った形で行うことを考えていると述べた。

議事終了後、公益法人制度改革についてどう取り組んでいるかという質問があり、日耳鼻医学会としても検討中であると鈴木副理事長が回答した。

レセプトオンライン請求義務化は「原則」として

代議員会総会で西島参議院議員が講演

6月21日の日耳鼻医学会代議員会の前に、西島英利参議院議員が「社会保障の課題」と題して約1時間講演された。講演の要旨は以下の通り。(詳細はかがみに掲載予定)

臓器移植改正案が審議され衆議院ではA案が可決され他のB～D案は廃案になった。麻生総理はA案には反対票をいれたが、D案に賛成だったという。A案は脳死を人の死としたが、D案は臓器移植をする時に限り、脳死を人の死とするということに大きな違いがあり、他は同じである。これは今後参議院に送られるが、患者団体からの強い反対もあり、法律としてまだ決まった訳ではない。

「骨太の方針2009」は先の総務会で了承されなかった。社会保障の2200億円抑制は限界だということは麻生総理も榊添厚労相も分かっているが、「2006年骨太の方針を踏まえて」という文言が入っているため、これを外すと他の省庁のシーリングも外れることになるので、なかなか外せない状況である。しかし、社会保障の2200億円削減はないと言える。

レセプトオンライン請求について、3月30日の閣議決定で「原則」という言葉をいれた。これは例外規定を設けることが出来るということ、この例外規定については今整理しているところである。

高齢者医療制度は、医療費は伸びる一方で、これに対処しなければ保健医療制度が破綻するということで、十数年国会で審議してきて、それを取り入れた形で制度が出来た。75歳はどこで決めたのか、これは健康寿命である。

民主党は政権を取ったら、医療を抜本的に改革し、負担と給付の公平化を図るといっているが、医療費は中医協がきめるものであり、医療をどう考えているのだろうか。

いずれにしろ、次の衆院選挙で政権がどうなるかわからないが、きちんとした情報をとった中で決めて頂きたい。

レセプトオンライン請求義務化への「対応指針」

日本医師会 5月29日

- 1) オンライン請求に対応が可能な医療機関は、積極的に推進して頂きますようお願い致します。
- 2) 手書きレセプトで請求している医療機関については、現在、大半が例外措置の対象となるよう交渉中です。オンライン請求への

対応が困難であるために、閉院や廃院をお考えの場合には、日本医師会まで事前にご相談ください。

- 3) 紙レセプトを印刷して請求している医療機関は、現在のレセコンをそのままお使い頂き、リース期限、減価償却期間の終了時をもってレセプト電算処理システムに対応した機種にご変更下さい。補正予算などによる助成も審議されておりますので、内容が決まり次第、ご案内致します。
- 4) 既に電子レセプトで請求している医療機関は、補正予算などでの助成内容が明らかになった後に、日本医師会として改めて周知致しますので、オンライン化への対応を検討して下さい。
- 5) オンライン請求のための機器を販売する業者などからの営業行為(買い換え、オプション購入、請求用回線など)については、上記2)から4)の内容を勧奨し、慎重にご対応下さい。

特定非営利活動法人 日本耳鼻咽喉科医学会
第34回 臨床家フォーラム
東京FORUM 2009
会期 平成21年9月5日(土)・6日(日)
会場 パシフィコ横浜・会議センター5階
横浜市西区みなとみらい1丁目1番1号

第34回臨床家フォーラム記念講演決まる

9月6日全体集会での記念講演が以下のように決定。

- 講演1 日本大学芸術学部教授 佐藤綾子先生
思いやりと信頼のメディカルパフォーマンス
講演2 広島市現代美術館館長・元広島大学長 原田康夫先生
耳石代謝の研究から - ハトの帰巢の秘密まで -
講演3 作家 渡辺淳一 先生
鈍感力 - 2007年度ミリオンセラー -

また、前日は教養講座として僧医・元臨済宗管長 对本宗訓先生の「僧医の視座より - 生老病死にまなび -」が予定されている。

会員への案内冊子の発送は7月上旬予定。

来年の第35回フォーラムは大きくチェンジ

平成22年の第35回臨床家フォーラムは東京在住の日耳鼻医学会役員が中心になって行うことになったが、従来のフォーラムの形式を大幅に変更して、先ず、会員が診療を休まないで参加できるように日曜日が祝日の1日に縮小、内容も学問的なものよりも、経営や雇用問題、従業員教育などに絞り、医業経営に直接役立つものにする方向で準備に入った。これに関して会員にアンケートを行う予定である。また、私の診察室として広く外来診療上での工夫、特に有用な器具、機器、外来小手術等を含めて先生方のアイデアを発表して頂く予定。なお費用に関しても出来るだけ会員の負担を少なくするために関係方面に働きかけることになった。

gsk GlaxoSmithKline 生きる喜びを、もっと Do more, feel better, live longer

新発売

定量噴霧式アレルギー性鼻炎治療剤

処方せん医薬品(注意-医師等の処方せんにより使用すること) 薬価基準収載

アラミスト® 点鼻液27.5µg
56噴霧用

Allermist® 27.5µg 56metered Nasal Spray フルチカゾンフランカルボン酸 エステル点鼻液

※「効能・効果」、「用法・用量」、「用法・用量に関連する使用上の注意」、「禁忌を含む使用上の注意」等については添付文書をご参照ください。

製造販売元(輸入) グラクソ・スミスクライン株式会社 グラクソ・スミスクラインの製品に関するお問い合わせ先(資料請求先)
TEL: 0120-551-007(9:00-18:00/土日祝日および当社休業日を除く)
〒51-8566 東京都港区千代田4-6-15 GSKビル FAX: 0120-551-047(24時間受付)

2009.6